

平成28年度青森県公社等経営評価書

(平成27年度決算ベース)

法人名等				法人の自己評価(経営評価指標)					
10	八戸臨海鉄道(株)								
所管課名	企画政策部交通政策課								
決算状況 (単位:千円、%)									
出資	資本金	県出資額	県出資比率						
	570,000	165,000	28.9						
決算	前期純利益	当期純利益	利益剰余金						
	29,397	39,738	420,833						
資産	資産	負債	純資産						
	1,472,759	481,926	990,833						
財務分析指標				上記についての所管課の意見・評価					
自己資本比率	総資産 経常利益率	県財政関与率	総資産回転率	売上高 経常利益率	【目的適合性】			◎	
67.28	4.00	0.00	35.17	11.37	地域産業振興に大きな役割を果たしており、引き続き適切な業務実施に努める必要がある。				
販売管理費 比率	人件費比率	流動比率	借入金比率		【計画性】			○	
22.07	40.82	287.16	0.00		計画性のある経営がなされている。				
経営評価結果				【組織運営の健全性】					○
評価区分	A:概ね良好			外部のイベントに参加するなど広報活動に努めていると思われるが、引き続き様々な社会貢献や情報発信に取り組む必要がある。また、人材育成についても、より一層取り組む必要がある。					
<p><財務状況> 財務の状況については、毎期、ほぼ安定して黒字を確保し、順調にその幅を拡大している。借入金を前倒しで全額返済したことは評価できる。</p> <p><経営状況> 法人が自己評価した経営評価指標の項目については、前記の財務状況に起因し、財務状況の健全性が改善しているほか、その他の評価項目においてもおおむね妥当なものと認められる。</p> <p><留意事項> 当法人の売上高において、貨物運輸収入は、主要顧客である三菱製紙(株)八戸工場の操業に左右される状況にあるため、同工場の長期的な操業の見通しについて、引き続き把握していくことを期待する。</p> <p>また、兼業収入として、八戸市及び青い森鉄道(株)からの業務を受託し、鉄道事業以外での収入確保に取り組んでいる点は評価できるものの、当該受託業務についても、委託側の事情により大きく影響を受けるものであることから、これらの動向を注視しつつ、持続可能な経営基盤の確立に向け、今後の事業の再構築を含め経営のあり方について、検討していくことを望みたい。</p>				【経営の効率性】					○
				販売管理比率は若干増加したものの、減価償却費が増えたことによるものであり、人件費比率も改善し、利益も確保している。引き続き収益の確保や経費節減に適切に取り組む必要がある。					
				【財務状況の健全性】					◎
				財務状況は問題なく健全である。今後も収益拡大、費用削減を徹底し、安定的な黒字確保に向けて取り組む必要がある。借入金については、今後の資金繰りに十分注意する必要がある。					